

令和4年度「県南方部出張型政策研究会」実施概要

県南地域における自治体DXの推進について考える

～先進事例に学ぶ新しい業務の進め方～

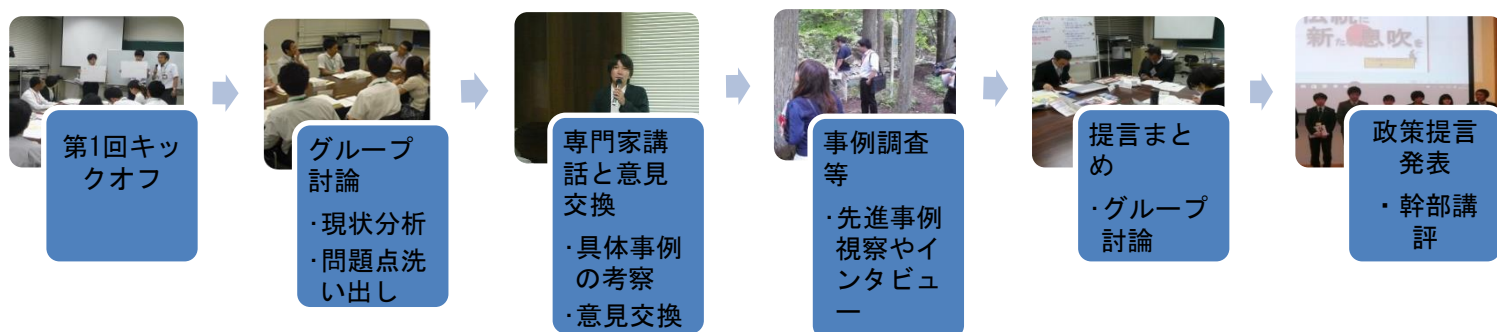


【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- センターから遠くても大丈夫。県南方部での出張開催！
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 自治体の枠を超えた広い視野の形成及び多様なコミュニケーション機会
- 月1回、通常業務を離れてじっくり探究、深まる議論と仲間との絆



【政策提言までの主な流れ】



【テーマ設定の背景と研究成果の期待】

総務省は、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）について、2020年12月に閣議決定した「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」と示しています。

既に多くの自治体において、上記の基本方針に沿って、デジタル技術やデータを活用し、業務効率化や業務内容の改善を進めながら住民の利便向上を目指す取り組みが進められており、単なる新技術の導入だけではなく、職員や住民の視点から、制度、政策の在り方等を変革し、新たな価値を生み出すことが求められています。

また、人々のライフスタイルの変化や少子高齢化が進展により、自治体の業務量が増加している中で、生産年齢人口の減少と連動して2040年までに自治体の職員数は減少する見通しとなっており、将来にわたり安定的に行政サービスを提供できるよう、デジタル技術やデータを活用した自治体業務の抜本的改革が必要となっています。

そこで、本研究会では、全国のDXの先進事例について学び、県南方部における「自治体DXの推進の在り方」や「デジタル技術やデータを活用した新しい業務の進め方」について研究するとともに、自治体職員のスキルアップを図るため、政策形成のプロセスや手法を習得することも目的とし、研究成果として政策提言することを目標に活動する。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行う。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもある。
- 研究会への参加費は不要。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待する。

知識・理解を深める、現状を把握する

(6月～7月)

第1回 (6月上旬) キックオフ勉強会、体験WS

開催場所：県南地方振興局管内

あいさつ：県南地方振興局長、センター所長

基調講演：未定

演題：未定

ワークショップ

コーディネーター：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・オープニングガイダンス
・専門家による理論講義、事例紹介、体験WS

第2回 (7月) 県南地域の現状と課題分析

開催場所：県南地域のいずれかの町村（以下、記載のない場合は同じ）

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・グループワーク（現状の把握と課題の洗い出し）
・研究テーマの決定
・フィールドワークの企画

第3回 (8月) 関係者へのヒアリング

開催場所：県南地域等

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・フィールドワーク（課題、研究テーマについての仮説の検証）

第4回 (9月) 勉強会

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・フィールドワークの結果まとめ
・専門家を交えた勉強会（講師：未定）
・参考事例の収集

第5回 (10月) 先進事例、参考事例自治体調査

開催場所：ヒアリング先

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・先進地視察、参考事例の自治体等よりヒアリング調査

第6回 (11月) 研究員GW

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・先進事例等結果考察、提言まとめへ向けたGW

第7回 (12月) 研究員GW

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・提言まとめ

第8回 (1月) 研究員GW

講師：尚綱学院大学総合人間科学系社会部門教授 藤本吉則氏

<内容> ・提言仕上げ

報告会 (1月下旬～2月上旬)

開催場所：県南地方振興局管内

・研究成果の報告会、幹部職員等による講評

調べる
考える
(課題への
取り組み
方向性
検討)
(8月
～10月)

まとめる、提言する
(提言書作成)
(11～2月)